



千葉市身体障害者福祉会 役員集合写真

第305号



5月1日発行

SSKR

千葉市身障者福祉会
発行 広報委員会
責任者 飛嶋 信行

福祉会解散のご挨拶 千葉市身体障害者福祉会会長 高山 功一

会員、ご家族の皆様、解散式へご参加を頂き「千葉市身体障害者福祉会」の解散式を無事開催出来ました事、大変うれしく思います。

又、年度末のお忙しい中、千葉市保健福祉局長 今泉雅子様、千葉市議会議長 松坂吉則様を始め、長年に渡り弊会にご尽力を下さいました方々にも解散式にご出席いただき心から感謝を申し上げます。

昭和20年8月15日、終戦を迎え、多くの人々が戦争や事故などにより障害を負い、大変厳しい生活を余儀なくされました。

そのような中、昭和25年4月1日に身体障害者福祉法が施行され、障害者の福祉向上と社会参加への道が開かれました。

これを受けて千葉市においても、上野慶造氏を初代会長に昭和25年11月に「千葉市肢体障害者福祉会」が設立されました。その後昭和44年2月「千葉市身体障害者福祉会」に改名以来、長年にわたり会員相互の親睦を深めながら、障害者の生活向上や社会参加の促進のため、様々な活動を続けてまいりました。

私自身も、事故により障害を負った際、当会に入会し、多くの会員の皆様から励ましや温かい支援をいただきました。そのお陰で今日まで前向きに歩むことが出来ました事を、大変有難く思っております。

その後、障害者の社会参加が進み、喜ばしい時代になった一方、個人情報保護法施工の影響もあって、新規入会の周知が難しくなり又、会員・役員の高齢化が進んだことから、今後の活動の継承が困難な状況になりました。

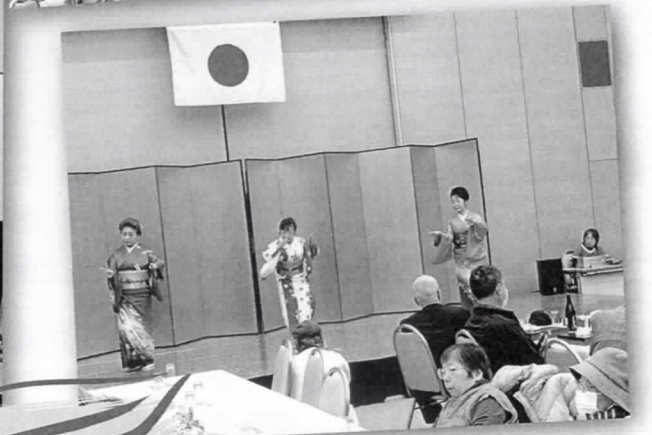
関係者で慎重に協議を重ねた結果、誠に残念ではありますが、令和8年3月22日をもって「千葉市身体障害者福祉会」を解散することに致しました。

弊会は長い歴史の中で、多くの方々のご支援とご協力に支えられて活動を続けてまいりました。

これまでご尽力くださいました歴代役員の皆様、会員の皆様、そして関係機関や地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

今後もそれぞれの立場において、地域社会の中で障害者福祉の向上に努めていくことが大切であると考えております。

最後に、千葉市身体障害者福祉会の長年の活動にご理解とご協力を賜りました歴代の行政関係者始め、すべての皆様に、改めて感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。



社会
ございました!!



(3)



千葉市身体障害者福祉会 これまでありがとう



千葉市身体障害者福祉会 活動資金残予算について

千葉市身体障害者福祉会会員、ご家族の皆様、当会が令和8年3月22日(日)をもって75年の長い歴史に幕を下ろしました。

福祉会が解散するとは思ってもせず、増々発展するため。と諸先輩が競輪場及び夏の稲毛の浜での売店運営。千葉市仏教会「釈尊はなまつり」バザー店の運営。日本芸能協会「遊輝」・「朱龍会」の会主、家元・会員・御家族皆様発表の場での募金活動で全額の御寄付。「日身連収益事業所」に協力し収益金受領。そして、なにより大きかった市施設での飲料自動販売機の収益。等の事業でコツコツと地道な活動から貯めた貴重な運営基盤で大切に育てて来たものです。

解散に当たり残予算の処理を総務委員会9名、及び月例理事会での意見交換を繰り返し、千葉市の福祉会会員・家族の協力で得た収益金であることを踏まえ千葉市内の色々な災害時の弱者の方々役に立つ事に使ってもらえる場所へ寄付をする。と結論付けました。

その寄付先として以下、2か所に決定。担当の方に面接、目録をお渡しさせて頂きました。



- ① 千葉市総合政策局・・・500万円ご寄付
・危機管理艦・・・相良 俊洋様
・課長補佐・・・樋口 哲也様
4月30日(木)に目録お渡し
- ② 千葉市社会福祉協議会・・・200万円ご寄付
・会長・・・初芝 勤様
5月7日(木)に目録お渡し

5月23日(土)開催の最終評議員会に「福祉会計残高ゼロ円」を報告し承認を受けます。

会員皆様には永きに渡るご支援、ご協力に心から感謝しお礼を申し上げます。

今後はご自愛されお元気で過ごされたいことをお祈りしご報告とさせていただきます。

「ありがとうございました」

千葉市身体障害者福祉会 会長 高山 功一

編集後記

まず初めに、広報委員長として千葉市身体障害者福祉会解散の最後に携われたことについて、もの悲しい気持ちもありながら、最後まで広報誌を継続出来た事、誇らしく思います。

千葉市身体障害者福祉会が解散を迎え、これまで生活の一部として入り込んでいたものが一つ抜けてしまうようで、悲しい寂しい気持ちがあります。

わたくしは交通事故で左腕が動かなくなる障害を2008年に患い、2011年に当会を知り入会致しました。

会の中では若手の部類にあたり、会員、役員の皆様本当に気をかけて頂き、これまで活動を継続出来たと思います。

同年に理事就任、2015年に本誌担当である広報委員長に就任させて頂きました。前任者の小野昭光理事、砂原時男理事から引き継ぎ239号から今号305号まで67号に渡って担当させて頂きました。

本誌を作るうえで、会員の皆様楽しんで読んでいただけること。見やすい内容で構成すること。この2つを作る際に意識していました。皆様に伝わったかは分かりませんが、これまで目を通して頂き本当にありがとうございました。

本誌の担当以外にも、各行事の司会を務めさせて頂き、初めての司会の時には本当に緊張し、何度も練習やイメージトレーニングしたことが今でも思い出されます。

広報作成、司会進行、いずれも自分にとってこれまでにない経験でしたがとても良い人生経験だったと思います。

これまで暖かく見守り、また未熟な私を支えて頂いた、会員の皆様、役員の皆様、行政機関の皆様、また、ここまで会を立ち上げ存続頂いた諸先輩方、本当にありがとうございました。

千葉市身体障害者福祉会 広報委員長 飛嶋 信行

発行人：特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷102号

編集人：千葉市身体障害者福祉会

千葉市中央区千葉寺町1208-2 ハーモニープラザ3階

千葉身障に関するご意見、ご要望、
問い合わせは以下にお願いします。

Tel: 043-209-3281

Fax: 043-209-3282